



雪谷の清流

平成31年3月27日発行
岩手県立軽米高等学校通信37号
文責:副校長 松場 喜美夫

表彰式並びに終業式 3月20日(水) 第一体育館



平成31年3月20日(水)、終業式が行われました。
高橋正勝校長は、講話として次のようにお話しになりました。

東日本大震災から8年目となる3月11日(月)を、被災地でない場所で迎えるのは随分久しぶりのことでしたので、少し被災地に思いを巡らせてみたいと思います。

私は、震災のあった平成23年4月に、県内で2番目に被害の大きかった大槌町の大槌高校に赴任し、学校施設や体育館に避難している方々と生活を共にする経験をしました。

避難所は夏休みまで続きました。

Yesterday is history. Tomorrow is a mystery. And today is a gift.

昨日は歴史という過去。明日はどうなるか分からない。でも、今日という日は、自分にもたらされた贈り物である。だから、今を大切に生きてください。

これは、東日本大震災の後、アメリカの少年が日本に向けて送った励ましの言葉としてアメリカで紹介されたといわれる言葉です。このメッセージに、被災地の方々が大変励まされたと言われてます。

それから5年後の平成28年4月、壊滅した街が少しだけ復興した陸前高田市の高田高校に赴任しました。震災後、生徒たちは仮設校舎で4年間過ごしました。そして、ようやく新校舎に引っ越すことになりました。でも、校庭は全面仮設住宅でした。部活動をするために、30kmぐらい離れた隣の町の仮設のグラウンドに出かけていました。ようやく校庭にグラウンドや野球場が作られたのが去年の平成30年のことです。

先週の岩手日報に次の詩が掲載されていました。

最後だと分かっていたなら ノーマ=コーネット=マレック
あなたが眠りにつくのを見るのが 最後だと分かっていたなら
わたしは もっとちゃんとカバーをかけて
神様に その魂を守ってくださるように 祈っただろう で始まり
「ごめんね」や、「ゆるしてね」や、
「ありがとう」や、「気にしないで」を伝える時を持とう。
そうすれば、もし明日が来ないとしても、あなたは今日を後悔しないだろうから。

で終わっています。

この詩は、アメリカ人の母親が、溺れた子どもを助けようとして自分も溺れて亡くなった10歳の息子にあてた悲しみの思いを綴った詩です。この詩は、18年前の2001年9月11日、アメリカ同時多発テロの追悼集会で朗読され、世界で大きな反響を呼びました。

3月11日。それは、全ての人々が、明日が来るのが当たり前ではない、と知った日、という意味で新聞に掲載されたのだと思います。

皆さんの生活に、普通とか、いつも通りがあるとすれば、それは、とても幸せなことだと思います。また、周りには最大の感謝を表しましょう。そして、何より自分が今をどう過ごすか、何をするのが最善かを考えるようにしましょう。その様な考え方を大切にして生活していれば、毎日の積み重ねが自分を成長させ、あなたを取り巻く人たちにもあなたの感謝が伝わると思います。

明日から始まる春季休業で、皆さんの成長のつぼみを明確に持ち、新年度で花咲かせてください。

<皆勤賞表彰>

- 1学年 25名
 - 1組 一條 僚佑、稲森 颯、大鳥 美樹、角田 恵理、小林 柁陽、瀧澤 愛華、中野 寿哉、松浦 駿、松橋 駿人、松橋 優人、宮川 愛美、柳 翔磨
 - 2組 賣井坂芽生、江刺家 悠、大下 光輝、上平 俊一、上村 凌、君成田知也、小林 美璃、澤尻 七星、滝沢 歩、田端優美子、鶴飼 和也、鶴飼 彩稀、野澤 脩
- 2学年 20名
 - 1組 井戸瀧七海、上村 来夢、遠堀 悠斗、戸田 真人、畑林 秀、袋主 花菜、若山 一星
 - 2組 池端 蓮、大清水寛生、小林 美慶、小林 蓮、五郎九千尋、清藤 結、高柳里佳子、田代 優翔、土佐 慈、中里 悠佳、波柴紗耶佳、古川 直人、古館 史歩

<精勤賞表彰>

- 1学年 4名
 - 1組 久保 柁斗
 - 2組 高橋 太陽、宮川 真優、山仁 杏結
- 2学年 5名
 - 1組 小笠原有理、小野寺望月、坂本 輝、田澤ひかり、新井田里桜

<賞状伝達>

- 軽米町体育協会 表彰
 - 一條 僚佑 (1-1)、瀧澤 愛華 (1-1)、久保 美乃 (2-2)、古川 直人 (2-2)
- 軽米町教育委員会児童・生徒表彰 いずれも奨励賞
 - 一條 僚佑 (1-1)、瀧澤 愛華 (1-1)、久保 美乃 (2-2)、古川 直人 (2-2)
- 岩手県高等学校家庭クラブ連盟表彰
 - 稲森 颯 (1-1)
- 第47回岩手県書写書道作品コンクール
 - 特選 山根 未鈴 (2-2)
- 第6回学生ファッションデザイン
 - 奨励賞 吉岡菜々海 (1-1)



離任式

離任式～お世話になった先生・職員の皆様



松場 喜美夫
副校長
3年間
種市高校へ



館ヶ沢 寛
事務長
3年間
盛岡第三高校へ



米沢 崇史
教諭(数学)
6年間
盛岡第三高校へ



沖澤 牧子
養護教諭
1年間
福岡高校定時制へ

お知らせ

本年度の軽高通信は、今回をもって終了です。
新年度の誌面をご期待ください。

生徒は、3月21日(木)から4月4日(木)まで春季休業となります。計画的に生活して課題に取り組み、また、新年度の準備をしてください。元気な顔で新年度にお目にかかりましょう。ご機嫌よう。ありがとうございました。